

# 福島第一原子力発電所現地確認報告書

## 1 確認日

令和6年12月5日（木）

## 2 確認箇所

- (1) 地下水バイパス一時貯留タンクエリア（図1）
- (2) サブドレン他水処理施設一時貯水タンクエリア 他（図1）

## 3 確認項目

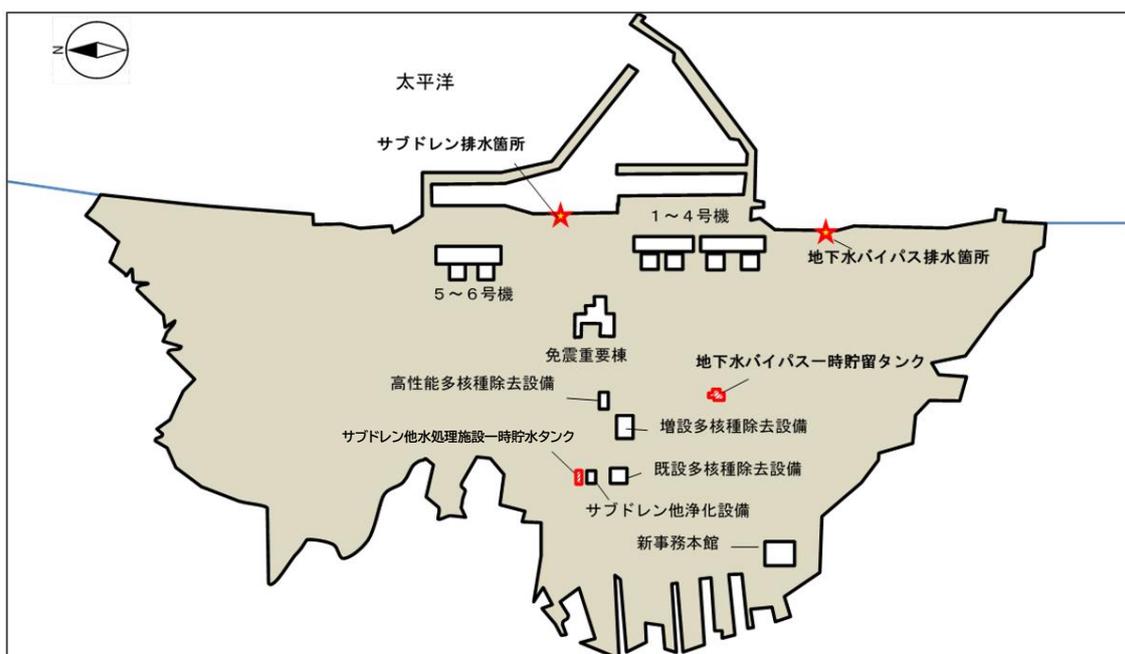
- (1) 地下水バイパスの排水状況
- (2) サブドレン処理水の排水状況

## 4 確認結果の概要

福島第一原子力発電所では、原子炉建屋等に流入する地下水量を低減させるため、地下水バイパスやサブドレン他水処理施設などを設置し、基準を満足した地下水を定期的に海洋へ排水している。

今回、地下水バイパス一時貯留タンク及びサブドレン他水処理施設一時貯水タンクからの排水が予定されていることから、状況を確認した。

（前回確認：[令和6年9月11日](#)）



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図

(1) 地下水バイパスの排水状況

地下水バイパス一時貯留タンクは全9基からなり、3基毎にグループ1から3までに分けられている。今回はグループ1から排水が行われた。

(写真1)

- ・東京電力社員が、排水を行わないグループ2及び3の排水弁が「全閉」となっていることを確認していた。(写真2)
- ・東京電力社員が、排水を行うグループ1の排水弁を「全閉」から「全開」にする作業を実施した。(写真3)
- ・免震重要棟集中監視室からの遠隔操作により排水ポンプが起動した。その後、東京電力社員がポンプ起動後の状況や、ポンプ、周囲の配管に異常が無いことを確認していた。(写真4)
- ・排水開始後、目視の範囲で異常は確認されなかった。



(写真1)

地下水バイパス一時貯留タンク  
エリアの外観



(写真2)

排水しないグループの排水弁の「全閉」確認状況



(写真3)

排水弁の「全開」作業状況  
※今回排水対象としているグループ  
1排水弁の状況



(写真4)  
排水ポンプ起動後の確認状況

(2) サブドレン処理水の排水状況

サブドレン他水処理施設一時貯水タンクは全11基からなり、今回はこのうち1基(タンク(A))から排水が行われた。(写真5)

- ・排水にあたって、東京電力社員が、排水予定のサブドレン他水処理施設一時貯水タンク(A)以外の出口弁の「全閉」を確認していた。(写真6)
- ・その後、サブドレン他水処理施設一時貯水タンク(A)の出口弁の「開」操作が実施された。なお、地下水バイパス一時貯留タンクの排水と同様に東京電力社員が手順に沿って作業を行うとともに、スマートフォンのビデオ通話機能を用いた免震重要棟集中監視室の当直員とのクロスチェックが実施されていた。(写真7)
- ・免震重要棟集中監視室からの遠隔操作により移送ポンプが起動した。その後、東京電力社員がポンプ起動後の状況、ポンプや周囲の配管に異常がないことを確認していた。(写真8)
- ・排水開始後、目視の範囲で異常は確認されなかった。



(写真5)  
サブドレン他水処理施設一時貯水タンクエリアの外観



(写真6)  
タンク(A)以外の出口弁「閉」の  
確認状況



(写真7-1)  
タンク(A)の出口弁「開」の操作  
状況



(写真7-2)  
スマートフォンのビデオ通話機能を用いたクロスチェックの実施状況



(写真8)  
浄化水移送ポンプ起動後の確認状況

## 5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。